

3.11を忘れない



東日本大震災後、不通となっていたが、避難指示区域の解除により運転を再開し、5年4カ月ぶりにJR常磐線小高駅に到着した一番列車

平成30年
3月11日(日)

甚大な被害を被った

東日本大震災の記憶を

風化させることなく語り継ぎ

首都直下地震に備える

セッション杉並
(梅里1-22-32)

東京メトロ丸ノ内線
「東高円寺駅」徒歩5分
「新高円寺駅」徒歩7分

申込不要 / 入場無料

プログラム

ホール 12:30~14:50

- 記念式典 ● 黙とう ● 講演 ● 演奏
- 南相馬市長からのビデオメッセージ
- 区立小中学生の防災に関する作文コンクール表彰式

展示室・ホールラウンジ 11:00~16:00

- 南相馬市物産展
- 防災まちづくり展示 等

中庭 11:00~16:00

- 起震車体験 等



● 駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。

演奏

南相馬市小・中・高生マーチングバンド Seeds+ (シーズプラス)

Seeds+ (シーズプラス)は南相馬市で活動する小・中・高生マーチングバンドです。Seeds+の前身である原町第一小学校マーチングバンドは、震災前、全国大会の常連校でしたが、福島第一原発の事故によりメンバーの半数が県外への避難を余儀なくされ、活動を一時中断せざるをえない状況になりました。その後、活動が再開されても月に1、2度しか全体練習が行えませんでした。諦めずに練習を続け、その結果、2012年1月末には、再び全国大会に出場することができました。そんなSeeds+のメンバーの想いのこもった演奏を是非会場でお聴きください。



講演

南相馬市職員が体験した東日本大震災 ～大震災の体験からこれだけは伝えたい～

藤田 幸一氏

南相馬市職員



講演では、東日本大震災発生当時の南相馬市の様子やご自身の経験談、また、復旧の状況や復興に向けた取組についてお話しします。

また、近い将来に必ず発生すると言われ、いつ「その時」がやってくるかわからない首都直下地震に対して我々が日頃から心掛けなければならないことや、発災時はどのように行動すればよいかお伝えします。

経歴

- ・平成22年4月～平成24年3月 経済部商工労働課長
- ・平成24年4月～平成28年3月 経済部長
- ・平成28年4月～平成29年3月 直轄理事
- ・平成29年3月 南相馬市役所退職
- ・平成29年4月～ 総務部秘書課勤務

南相馬市復興支援

杉並区は災害時相互援助協定を結ぶ南相馬市を震災以降、支援しています。

震災から7年が経過する今年は、南相馬市の復興の様子を色々な形でご紹介いたします。

●展示室・ホールラウンジ

▶南相馬市物産展

南相馬市民の方々が市内で販売されている商品を出張販売します。



▶南相馬市写真展

東日本大震災発生当時の写真及び震災以降のまちの移り変わりを写真展示します。復興の様子をご覧ください。

▶南相馬市の景色(DVD)

現地の様子をもっと知りたい、見てみたいという要望にお応えして、南相馬市の景色の映像を上映します。



災害に強いまちづくり

展示室内では防災に関する様々な情報展示を行います。

●展示室

▶すぎナビアプリの紹介

避難所や安全な避難路などの情報を入手できる首都直下地震などの大規模災害に備えた地図アプリです。



▶地震被害シミュレーションの紹介

「東京湾北部地震」を想定し、杉並区での震度予測や被害のシミュレーションを行いました。

▶防災まちづくり施策の紹介

(杉並区都市整備部、土木担当部)

▶防災備蓄品等の紹介(杉並区防災課)

▶インフラ関係機関による防災展示

(水道局、東京ガス、東京電力)

▶消防署・警察署による展示 ほか